



議員 矢野 昭三

成又熊の浦、若山 線改良工事は 来年度調査費計上 ／町長

問

合併協定の中に定めている成又熊の浦線、若山線の改良工事をなぜ行わなかったか理由を問う。

答

当初、用地の取得が困難であった。合併時の財源調整もあったが、来年度調査費をつけて進めていく。

下村町長

行政執行

町長の姿勢
について

サービス保持
に努める／町長

問

① 黒潮町の組織変更は町民の納得が得られるものか。
② 医療費の国費財政支援の増額を求め、どのように取り組んだか。

③ 自動車専用道は昭和59年2月1日、西四国縦貫道路建設同盟会発起人会開催以来、先輩各位が開設要望大会や大臣要望を繰り返してきた、やっと工事が始まった今、町をあげて喜びを表すことをすべきではないか。

答

下村町長

① 人員配置の関係など努力しサービスの低下にならないように努める。
② 町村会などを通じ国に対し支援を要望している。
③ 今後本線の用地交渉に入る。町民の意識を高めるため横断幕などの設置を考えている。

公共工事

国、県の
建設工事について

関係機関と連携
をとる／町長

問

① 3月議会後、県管理施設の改善要望を土木部長へおこなったか。また、伊与木川河川改修、秋丸佐賀線他、有井川、浮鞭海岸の改修工事はどうなっているのか。

② 国や県の工事について地権者との間へ入り調整をしているか。
③ 自動車専用道が供用になると国道56号は県管理となる。市野瀬く不破原間の整備の要望に取り組むか。

答

下村町長

① 県土木部長への要望はしていないが、幡多土木事務所長へ要望を行った。秋丸佐賀線は平成22年度用地買収をす。有井川の手すりは本年度中に対応するが、コンクリート塊撤去は予算の確保に努めている。浮鞭海岸は、本年度補正予算で再度工事をする予定。

公衆トイレ

案内板の設置を

働きかける／町長

問

お遍路さんなど町外の方は、トイレの位置が分からないため困っている。
案内図等はその位置を明示したらどうか。

答

下村町長

平成22年度に案内看板を整備するよう働きかける。

一次産業

産業振興について

精一杯支援をしたい
／町長

問

① 優良な堆肥作りに支援すべきではないか。

② 国、県と連携をとりながら地権者とのパイプ役となり解決に取り組んでいる。
③ 整備箇所が多いため優先順位を考えて要望したい。

答

下村町長

① 施設建設の事業が確定したら、県補助と合わせて補助を行うことになる。また、堆肥の購入に補助金を出す。
② 防護策の設置で実績があがっているので、捕獲と合わせて対応していきたい。
③ 来年1月10日頃の出港に間に合うよう、イワシの蓄養を始める。現在小割り3基のところ、あらたに3基増設する。この事業で地元漁港が、水揚げ、餌、燃料の補給など一度にできるので、時間、経費の節減と地元商店の活性化につながる。